

小学校におけるデジタル化と学力

～小学校教員を対象とした全国調査に基づいて～

- 西本裕輝（琉球大学）
- 馬居政幸（静岡大学（名））
望月重信（明治学院大学（名））
藤田由美子（福岡大学）
角替弘規（静岡県立大学）
遠藤宏美（宮崎大学）
谷田川ルミ（芝浦工業大学）

周知のように、現在コロナ禍により学校は大きく変化している。特に2021年4月から小中学校において一人一台タブレットが支給され、デジタル化、ギガスクール化が本格的に始動している。これにより授業のあり方も大きく変わる可能性がある。しかしその実態はまだほとんど明らかになっていない。

そこでここでは小学校教員を対象とした全国調査（公益財団法人中央教育研究所実施）に基づいて実態に迫りたい。特にタブレットの利用状況、それに対する教員の意識についてデータから明らかにする。その中で、学力上位県ほどタブレット利用について慎重である等の結果を示しながら問題提起をしていく。

希望する発表形式：オンライン（オンデマンド）